2020年度通常公募_団体情報シート									
団体名	社会変革推進財団			団体web サイトURL	http://www.siif.or.jp/				
申請事業名			申請受付番号	2026					
主題	±■ コレクティブインパクトによる地域課題解決								
				申請事業の分類①	②イノベーション企画支援事業				
	~重要社会機能の可視化と集合的支援のためのコンソーシアム育成~		申請事業の分類②	-					
副題			申請事業の分類③	-					
優先すべき社会の諸課題選択科目									
領域①	3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	領域②	3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動						
分野①	分野②								
6	地域の働く場づくりの支援	7		安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援					
_	-	-			-				
_	-								
領域③	1)子ども及び若者の支援に係る活動	領域④			-				
分野③	分野③ 分野④			·					
3	社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援	-			-				

## 申請事業概要

主に5大都市圏を除く地域を対象に、地域社会における活力低下に歯止めをかけ、雇用の維持・増大と目的として、各地域において重要な社会的役割を担う事業(以下、「重要社会事業」という。)を、集合的アプローチによって維持・発展させる。集合的アプローチのハプとして地元企業・団体によって構成されるコンソーシアムを立ち上げ、経営支援、金融支援、プロモーション支援、行政との連携支援等の支援メニューを提供する。コンソーシアムの構成企業・団体は対象地域への貢献を組織目的に含むものとし、コンソーシアム参加を通じた重要社会事業の支援が、構成企業・団体の主業の発展に裨益する仕組みを構築する。 コンソーシアムはコレクティブ・インパクトの実践を通じた地域課題解決に挑戦する。具体的には、「共通アジェンダ」の設定、「共通評価システム」の導入、「相互の補強しあう活動」の実践、「継続的なコミュニケーション」の実施、「プロジェクトの支柱」の配置に取り組む。プロジェクトの支柱とは、コンソーシアムの運営実務担う専任スタッフの配置を意味し、スタッフの配置費用およびコンソーシアムの活動費用を休眠預金資金で助成する。

団体組織情報								
●設立・法人取得年月日								
1	設立年月日	2018/9/18						
	法人格取得年月日	2018/9/18						
2	団体概要	・新たな資源循環の持続的発展に向けたエコシステムを構築し、モデルの創出やプレーヤーを育成。・人材や組織の育成・変革・協働に向けたモデル構築や取組みの発展を後押し。・事業を実施する中で得られる学びを取り出し、概念化し、知見として高め、広く発信・共有・対話をしながら知識の深化と伝播を担う。また、学び合うコミュニティの形成を行う。社会的な成果に対する新しい多様な価値のものさしを提示し、普及に努める。						
-	●代表者情報							
	代表者名	大野 修一						
3	代表者の役職	理事長						
•	代表者名 2	青柳 光昌						
	代表者の役職 2	専務理事						
	●役員							
4	役員の人数	23人						
4	(その内)監事/監査役・会計参与の人数	1人						
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	0人						
	●事務局職員							
I	職員・従業員合計	18人						
		以下、職員・従業員の内訳						
	常動・有給・有期	1人						
	常動・有給・無期	16人						
5	常動・無給(有期・無期)	0人						
	非常勤・有給・有期	1人						
	非常勤・有給・無期	0人						
	非常勤・無給(有期・無期)	0人						
	事務局体制の備考	特になし						
6	●資金管理体制							
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	問題なし						
	●区分経理・帳簿							
7	1.必要な会計帳簿が備えられている	問題なし						
	2.業務別に区分経理ができる体制である	問題なし						
8	●監査							
-	年間決算の監査を行っているか	①監事で実施						

助成実績						
1	前年度の助成件数 (件)	・はたらくファンド(2019年12月末時点ファンド総額26億円、SIIF出資金額未公表) ・岡山市:SIBを活用した健康ポイント事業(出資、SIIF出資金額未公表) ・豊中市:禁煙車に対する禁煙支援(出資、SIIF出資金額未公表) ・(株)アドレスへの出資(出資、SIIF出資金額未公表) ・「ハルキゲニアラボ」対象4件への助成				
2	前年度の助成総額(円)	・個別出資金額:非公表 ・助成金:合計2000万円				
	助成事業の実績内容					

【SIB事業】合計8件の出資、全国のSIB案件の過去3年間の急増を牽引 - 日本初SIBの神戸市「糖尿病性腎症等重症化予防」案件組成、関係者間の調整、契約締結等、中間支援組織として事業構築・出資。成果指標①保健指導プログラム修了率及び②生活習慣改善率が目標値を達成。 - 八王子市「大腸がん検診受診率向上」案件に出資。当財団資金が呼び水となり大手金融機関、ベンチャー企業、個人投資家等が出資。成果指標①検診受診率の結果が目標値を達成。 - 岡山市SIB健康ポイント事業の案件組成支援・出資。共同出資者として中国銀行が参画、他10社以上の地元企業や市民からの小口出資を集め、資金レバレッ7倍以上を達成。 - 広島県のがん検診率向上SIBに出資。 クラウドファンディングによる広範囲なファンドレイジングに挑戦した他、みずほ銀行、広島銀行等の参画を誘導。 - 「未来投資戦略」において有識者として具体的な施策の検討に参画、2019年4月の未来投資会議PPP会合にて提言書発表。 【投資事業】 - PSI(株)に出資・伴走支援を実施しし事業確立に向け貢献 - 「神奈川県ヘルスケアニューフロンティアファンド」の投資先ペンチャー企業のロジックモデル作成や社会的インパクト評価、インパクトレポートの発行。 - 新生企業投資およびみずほ銀行と多様な働き方・生き方を推進するインパクト投資ファンドを立ち上げ。新生企業投資は「東京金融賞2019 - ESG部門」を受賞。 - シングルマザー起業支援ファンドへ出資。将来的なSIBへの移行を目指して静岡市と協定を締結・調査研究に着手。 - 地域の新たな資源循環を創出する、他拠点ライフプラットフォーム「ADDress」を展開する、(株)アドレスへ出資。 【助成事業】 - 新たな資源循環を創出する人材・組織支援プログラムにて4社への助成と伴走支援を実施。 - 2019年度事業の資金分配団体に選定され、インバクト・マネジメントを地域に根付かせる仕組みをつくる信金中央金庫とのパートナー協定を実現。応募数計74件。

誓約確認等			
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり	
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり	
	業務1.2の確認	チェックあり	
	業務2の確認	チェックあり	
	業務3	該当なし	
	業務3の確認	チェックあり	
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり	